

区分	都道府県番号	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
1						



統計法に基づく国の
統計調査です。調査票
情報の秘密の保護に
万全を期します。

農業構造動態調査票(令和 年2月1日現在) (個人経営体)

お知らせ

- この調査は、とても重要な調査です。ご協力を願いいたします。
- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税など資料に利用することなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、そのままご記入ください。
- 回答は、パソコンやスマートフォン、タブレットでもできます。詳しい回答方法は、「オンライン調査ガイド」をご覧ください。

記入方法

- 必要に応じて『記入の仕方』(農林水産省HP)を見ながらご記入ください。
- 該当しない項目は空欄としてください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

マークの記入例

- 良い例のように丁寧になぞってください。

○ 良い例 ✓

○ 悪い例 ○

数字の記入例

- 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右詰めで記入してください。

○ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

1 2 3 11 2 3 4 5

【1】農業経営の概要

1 農業経営(2月1日現在)は継続していますか。(いずれか1つに必ず記入してください。)

個人経営のまま農業経営を継続している	農業経営を法人化した	農業経営をやめた
✓	✓	✓



次ページへ

農業経営を法人化した方、やめた方は、他の項目にご回答の必要はありませんので、このままご返送願います。ご協力ありがとうございました。
なお、農業経営を法人化した方については、来年以降、団体経営体の調査へのご協力を願いする場合がございます。

2 農業経営を継続している方は、該当するものすべてに記入をしてください。

経営耕地面積が 30a 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
露地野菜作付面積が 15a 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
施設野菜作付面積が 350 m ² 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
果樹栽培面積が 10a 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
露地花き栽培面積が 10 a 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
施設花き栽培面積が 250 m ² 以上ある	<input checked="" type="checkbox"/>
搾乳牛を 1頭以上飼養している	<input checked="" type="checkbox"/>
肥育牛を 1頭以上飼養している	<input checked="" type="checkbox"/>
豚を 15 頭以上飼養している	<input checked="" type="checkbox"/>
採卵鶏を 150 羽以上飼養している	<input checked="" type="checkbox"/>
プロイラーを年間 1,000 羽以上出荷している	<input checked="" type="checkbox"/>
過去1年間の農産物販売額 50 万円に相当する事業規模	<input checked="" type="checkbox"/>
農作業の受託事業を営んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>

(2) 土地

- 1 土地の状況を記入してください。(登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、居住地以外の市区町村にある土地も含みます。)

2 過去1年間に、販売目的で水稲を作付けした場合は、作付け面積を記入してください。(けい畔は含めません。)

販売目的で水稻を作付けした面積		(ha)	(a)			
		(町)	(反)	(畝)		
231		前年				
		本年				

【3】世帯の状況

- 1 世帯の中に認定農業者または認定新規就農者はいますか。該当するものすべてに記入してください。

	前年	本年
世帯員に認定農業者がいる	301	✓
世帯員に認定新規就農者がいる	302	✓

- 2 世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。一つに必ず記入してください。

	前年	本年
自営農業による所得が多い		✓
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない)	311	✓

【4】農業の労働力

1 経営主及び過去1年間に農作業(管理労働含む。)に従事した満15歳以上の世帯員(農業生産関連事業のみに従事した人は含めません。)について、一人づつ記入してください。

※1 「方針決定」は以下をいいます。	
<ul style="list-style-type: none"> ・生産品目・飼養畜種の選定 ・規模・出荷先の決定 ・機械・施設などへの投資、資金調達 ・農地借入、農作業受託の決定 ・雇用の決定、管理 	
※2 「従事した日数」には、1日を 8時間として計算してください。 (例)1日4時間ずつ→2日で1日分	

406	407							408			409	410		
経営主とともに農作業の方針決定に関わっている※1	過去1年間で農作業に従事した日数(管理労働含む)※2							過去1年間(令和7年2月～8年1月)の主な状況			過去1年間に親の農業経営とは別作物等を開始	2年前(令和6年2月～7年1月)の主な状況		
	1日	30日	60日	100日	150日	200日	250日以上	仕事を主にしていた	主に学生(研究修業を含む)であった	主に家事・育児・その他であつた		主に自営農業を行つた	主に自営農業以外の自営業等を行つた	主に他に勤務した
	29日	59日	99日	149日	199日	249日								

401	402	403	404	405		
経営主(いずれか1人)	性別				出生の年月	
	男	女	大正	昭和	平成	年

1 前年												
	本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2 前年												
2 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3 前年												
3 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4 前年												
4 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5 前年												
5 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6 前年												
6 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7 前年												
7 本年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

2 過去1年間に農作業のために常雇いした人(あらかじめ7か月以上の契約で雇った人)について、男女・年齢別に実人頭数を記入してください。

○世帯員は含めないでください。		男(人)	女(人)
29歳以下 (H8.2生以降)	前年 本年	421	422
30~34歳 (H3.2~H8.1生)	前年 本年	423	424
35~39歳 (S61.2~H3.1生)	前年 本年	425	426
40~44歳 (S56.2~S61.1生)	前年 本年	427	428
45~49歳 (S51.2~S56.1生)	前年 本年	429	430
50~54歳 (S46.2~S51.1生)	前年 本年	431	432

		男(人)	女(人)
55~59歳 (S41.2~S46.1生)	前年 本年	433	434
60~64歳 (S36.2~S41.1生)	前年 本年	435	436
65~69歳 (S31.2~S36.1生)	前年 本年	437	438
70~74歳 (S26.2~S31.1生)	前年 本年	439	440
75歳以上 (S26.1生以前)	前年 本年	441	442
計	前年 本年	443	444

3 上記常雇いのうち、外国人常雇い人数を男女別に記入してください。

○世帯員は含めないでください。

常雇いのうち、 外国人常雇い人数	前年	本年
451	451	452
452		

4 過去1年間に農作業のために臨時雇いした人の実人頭数を記入してください。

○世帯員は含めないでください。

臨時雇い (日雇、季節雇、手伝い、研修生など)	男(人)	女(人)
前年	461	462
本年		

【5】過去1年間の農産物の販売

1 過去1年間の農産物の販売金額(売上高)について、該当するもの1つに必ず記入してください。

○販売金額には、売上金額を記入してください(肥料代、農薬代などの経費を引かない。)。

農産物の販売あり	501	
	前年	本年
販売なし		✓
50万円未満		✓
50万~100万円未満		✓
100万~300万円未満		✓
300万~500万円未満		✓
500万~1,000万円未満		✓
1,000万~3,000万円未満		✓
3,000万~5,000万円未満		✓
5,000万~1億円未満		✓
1億~2億円未満		✓
2億~3億円未満		✓
3億~5億円未満		✓
5億円以上		✓

2 過去1年間の販売金額が上位3位までの部門について、該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

○経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。

部門コード	前年	本年	部門コード	前年	本年	割合(割)
1位部門	511		512			
2位部門	513		514			
3位部門	515		516			

部門コード

水稻・陸稻 :01	施設野菜 :06	肉用牛 :11
麦類 :02	果樹類 :07	養豚 :12
雑穀・いも類・豆類 :03	花き・花木 :08	養鶏 :13
工芸農作物 :04	その他の作物 :09	養蚕 :14
露地野菜 :05	酪農 :10	その他の畜産 :15

○きのこ栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

3 過去1年間の農産物を販売したすべての出荷先を記入し、さらに売上1位の出荷先を記入してください。

	出荷先		531	
	前年	本年	前年	本年
農協へ	521	✓		✓
農協以外の集出荷団体へ	522	✓		✓
卸売市場へ	523	✓		✓
小売業者へ	524	✓		✓
食品製造業・外食産業へ	525	✓		✓
消 費 者 に 直 接 販 売	526	✓		
	527	✓		
	528	✓		
	529	✓		
	530	✓		
その他へ				

【6】過去1年間の農作業の受託

1 過去1年間の農作業の受託(請負)による料金収入について、該当するもの1つに必ず記入してください。

過去5年間の農作業の実績(請負)による料金収入について、該当するものに赤色で記入してください。

		601		601	
		前年	本年	前年	本年
受託料金収入なし			✓	3,000万～5,000万円未満	✓
受 託 料 金 収 入 あ り	50万円未満		✓	5,000万～1億円未満	✓
	50万～100万円未溫		✓	1億～2億円未溫	✓
	100万～300万円未溫		✓	2億～3億円未溫	✓
	300万～500万円未溫		✓	3億～5億円未溫	✓
	500万～1,000万円未溫		✓	5億円以上	✓
	1,000万～3,000万円未溫		✓		

○受託料金収入には、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。
 ○また、その場合は、2ページ【2】土地の「うち、借りている」に借りている土地の面積を記入してください。

【7】農業生産関連事業

~~農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、曾農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン、再生可能エネルギー発電などが該当します。~~

~~1 過去 1 年間に農業生産関連事業を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。~~

		前年	本年		前年	本年
行っていない		701	✓		706	✓
行っている	該当するすべてに	702	✓		707	✓
		703	✓		708	✓
		704	✓		709	✓
		705	✓		710	✓
農家民宿						
農家レストラン						
海外への輸出						
再生可能エネルギー発電						
その他						

2 過去1年間に農業生産関連事業(管理労働含む。)へ従事した人(経営主を含む)について、実人数を記入してください。
また、そのうち農作業(管理労働含む。)にも従事した人の実人数を記入してください。

		男(人)		女(人)		男(人)		女(人)		
経営内部の労働力 (経営主、世帯員)	721	前年			722			731		
		本年						732		
雇用労働力	723	前年			724			733		
		本年						734		
臨時雇い(日雇、季節雇、手伝い、研修生など)	725	前年			726			735		
		本年						736		

(8) 農業経営の特徴的な取組

1 農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

		801	
		前年	本年
行っている	正規の簿記		✓
	簡易簿記		✓
	現金主義		✓
行っていない			✓

- 「正規の簿記」とは、損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高65万円））。
 - 「簡易簿記」とは、「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高10万円）をいいます。
 - 「現金主義」とは、現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高10万円）。

2 有機農業に取り組んでいますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

~~また、有機農業に取り組んでいる場合、有機農業に取り組んでいる耕地の実面積を記入してください。~~

(自給用に作付け(栽培)した面積(飼料用作物及び牧草地含む)も含めてください。)

「有機農業」とは、化学的に合成された肥料及び農薬の両方を使用しない農業のことで、有機JASの認証を受けてない場合でも「有機農業」に該当します。

なお、以下の取組については有機農業に該当しません。

- ・化学的に合成された肥料及び農薬を使用した「減化学肥料栽培」「減農薬栽培」
・化学的に合成された肥料を含む「有機入り合成肥料」や「有機配合肥料」を使用した場合

	811	(ha)	(a)
	前年	本年	(町)(反)(畝)
有機農業に取り組んでいる		✓	有機農業に取り組んでいる耕地の実面積
有機農業に取り組んでいない		✓	812

3 スマート農業技術(情報通信技術を用いた農業技術)を活用していますか。該当するものに記入してください(複数回答可)。

また、スマート農業技術を活用している場合、自らが経営している耕地の中で、実際に活用している耕地の実面積を記入してください(畜舎内で活用している場合は、実面積は「0」と記入ください)。

「スマート農業技術」の例

ロボットトラクター、自動操舵システム、運搬ロボット、リモコン草刈機、水管理システム、ドローン・無人ヘリ、ハウス等の環境制御システム 経営・生産管理システム 家畜の生態管理システム 電動アシストスーツ 等

	該当する すぐでに	821	前年	本年	(ha)	(a)
					(町)	(反)
スマート農業技術を自ら又は共同で導入し、活用している				✓		
スマート農業技術を活用したサービスやサポートを利用している		822		✓		
上記のいずれも行っていない		823		✓		

→

スマート農業技術を活用している耕地の実面積	831	前年				
		本年				

サービスやサポートを「利用している」とは、以下のことをいいます

- リービスやリポートを「利用している」とは、以下をいいます

 - ① ドローンによる農薬散布やロボットコンバインによる収穫等の 農作業を委託して実施
 - ② 収穫ロボット等のスマート農業機械のレンタル・シェアリングの活用
 - ③ スマート農業技術を使いこなす人材(派遣)の活用
 - ④ データの分析等を通じた栽培管理の見直しや作業体系の最適化の提案等のサービスの利用

無人ヘリコプターによる農薬の空中散布等を
委託・実施している場合を含みます